

侵官之害

読み方注音

読み意味注音

韓非子

昔者韓昭侯醉而寢。典冠者見君之寒也、故加衣於君之上。覺寢而說。問左右曰、典冠因兼罪典衣。誰加衣者。左右對曰、典冠。與二典冠一其職也。非不惡寒也。以三為侵官也。

昔者今者向者

説(悦)

韓昭侯

醉て寝てしまった。

典冠が衣をかける

説(悦)

典冠と典冠二へとぞ又對

なぜ?

典衣は冠を管理する一つの仕事を怠り、

典衣は職務怠慢もし、典衣は越權行為をした。

大害

典冠の行動に

越權行為をする。弊害が大きいか。

ほうび因當

スベバはうび因當で勤く

心から→それでもそれを見に周りの人は、

どちらもまわりに与え景(景)は大きいか。

得陳言而不當。越官則死。不當則罪。〔二柄〕

手を出さず。弊害は空(空)による弊害なり。〔はなし〕

故明主之畜臣。臣不得越官而有功。不

外へ貢献(貢献)はあらざる。〔はなし〕

孔子曰。〔二〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

弟子曰。〔一〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

發展(發展)する。〔二〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

孔子曰。〔一〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

法が必要。〔二〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

法の役割。〔二〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

國家の安定(中央集権国家)。〔二〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

君主の法。〔二〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

民の法。〔二〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

第二段落

職名と職分

山本先生の例職名教諭

職分のみんなにおこなえる

法は絶対。〔二〕法の思想

職名と職分の一致

法の役割

法家韓非

臣家と統御

國家の安定(中央集権国家)

得陳言而不當。越官則死。不當則罪。〔二柄〕

手を出さず。弊害は空(空)による弊害なり。〔はなし〕

故明主之畜臣。臣不得越官而有功。不

外へ貢献(貢献)はあらざる。〔はなし〕

孔子曰。〔二〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

弟子曰。〔一〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

發展(發展)する。〔二〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

孔子曰。〔一〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

法が必要。〔二〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

法の役割。〔二〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

君主の法。〔二〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

民の法。〔二〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

第一段落

職名と職分

山本先生の例職名教諭

職分のみんなにおこなえる

法は絶対。〔二〕法の思想

職名と職分の一致

法の役割

法家韓非

臣家と統御

國家の安定(中央集権国家)

得陳言而不當。越官則死。不當則罪。〔二柄〕

手を出さず。弊害は空(空)による弊害なり。〔はなし〕

故明主之畜臣。臣不得越官而有功。不

外へ貢献(貢献)はあらざる。〔はなし〕

孔子曰。〔二〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

弟子曰。〔一〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

發展(發展)する。〔二〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

孔子曰。〔一〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

法が必要。〔二〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

法の役割。〔二〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

君主の法。〔二〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

民の法。〔二〕外へ貢献(貢献)はあらざる。

テストに10%出る。